

冬の短期戦 業者大忙し

衆院選で県内レンタル・設営会社

暖房手配 トラック増車

衆院解散で事実上の選挙戦が始まり、選挙用品や暖房器具を貸し出す県内のレンタル会社や設営会社が大忙しだ。真冬に不可欠な大型ヒーターは引き合いが殺到して在庫不足となり、雪による納品遅れを防ぐためトラックを増車して配送を急ぐ。解散翌日から投票日まで16日間の短期戦に、担当者は「ここまで急な選挙は初めて」と話し、27日の公示に向けて休日返上で対応に追われている。

休日返上「時間勝負」

「経験したことのないほど急な選挙。とにかく時間との勝負」と本音を漏らすのは、選挙用品などを扱う第一レンタル（南砺市高堀）の担当者。同社には解散風が突然強まった14日ごろから、立候補予定者の関係者や各選挙管理委員会の問い合わせが急増した。選挙事務所を使う机や折り畳みいす、大型モニターなどの注文はいつもの選挙と同じだが、真冬の選挙だけに広い会場を温める大型ヒーターに予約が殺到。在



納品のため、トラックに積み込まれる暖房器具
＝南砺市高堀

庫500台では足りず、急きょメーカーに追加生産を依頼し、何とか間に合わせる予定という。

【関連記事1面】

通常は注文から納品まで「1週間ほどかかる」が、公示まで土日を入れて3日間しかない。さらに雪の影響で納期遅れも懸念され、配送用のトラックを4台増車し、計10台でフル稼働

する。担当者は「雪で道路状況が心配だが、できるだけ早く納品したい」と話す。

看板製作やイベントの会場設営を手掛ける真栄工芸（富山市東老田）は24日、富山市内で選挙関連の会場設営の準備に追われた。同社は、富山1区の立候補予定者の看板製作、選挙カーの手配なども請け負う。

衆院選が現実視されてからは業務が立て込み、休日返上で対応している。特に苦労したのは選挙カーの確保だ。既に予約が入っており、用意できなかった車種もあったという。

選挙とは別に、以前から決まっていた仕事もこなすため、限られた人員でやり繰りしている。社長の橘義継さん（53）は「短い期間だが、無事に選挙が終わるようしっかりと準備を進めたい」と話した。

県警が取締本部設置

2月8日投開票の衆院選に向け、県警は24日、選挙違反取締本部を県警本部と

県内14署に設置した。計1370人態勢で取り締まる。

捜査2課によると、22日までに警告はなかった。2024年の前回衆院選では文書掲示違反が1件、選挙期日後のあいさつ行為の制限違反が1件あった。

同課は「不偏不党、厳正公平な取り締まりを推進する」としている。